



第1号

令和5年4月27日

庄和すずらん幼稚園

新しく入園された皆さま、そして、進級された皆さま、おめでとうございます。この“保育だより”は、すずらん幼稚園の園運営や教育理念、教育内容、教育方法、そして具体的な実践を、皆さまに知っていただく一助として、思いつくままに発表させていただく欄を“保育随想”“幼稚園情報”として、園長が担当し、毎月一回を目安に配布させていただくものです。

保育随想

★ 気持ちを切りかえる！

新年度も始まりました。多くの方が新しい環境に一步踏み出す生活を、季節の風が背中を押してくれるような気持ちにも成る季節ですね。そして、新しい環境に身を置いて新しい気持ちで生活をして行こうと言う気持ちは、目にするもの総てが新鮮に飛び込んで来ます。老いも若きも人間は何歳からでも人生を楽しめるように作られているものです。いつでも「今」がスタートのときなのです。この春からスタートする、おやこの森の施設も春日部市の委託を受けて地域子育て支援センターの拠点として14年目に入りましたが、新たに特別支援が必要なお子さんの育ちの場所として活用して頂くことや、お子さんを育てるお母さんの活動の場所として、すずらん幼稚園、緑の森保育園、森のひろば保育園に在園する子ども達、そして、地域に在住の方々にも活用できる施設として、緑の森保育園から独立して生まれ変わりました。この施設での多くの方々の育ちや活動が楽しみです。この施設に関わる先生方は三つの館の先生ですが、いろいろなご縁で成り立っている世の中ですから、求めるものが見つかるかもしれません。皆さまのご家族にも新しい環境に一步踏み出された方がおられる事と思います。私の振り返っての感想ですが、新しい環境の中での意識は、まだまだ私は若いから、経験が少ないから等の思いで、見えない少し先の事に消極的に成ったり、その時に感じる思いを自分の中でまとめずに流してしまう、勿体ない場面や時間は、幾らかでも少ないほうが良いと思うのです。若いからは、いつに成ったら若くなくなるのでしょうか？そうになると、若くなくなった時に、私はこうやって来た！言いたくなることは必定なのであります。どの時代も目の前に出会うことが全ての事として、臆せず今ある自分で正面から向き合う心構えを習慣として身に付けて行けるようにすることが、今ある位置で物事が発見できる第一歩だと思うのです。幼稚園の子ども達には、その第一歩の気持を生活の中で体感してもらいたいと思うのです。それが出来る環境は、やってみる！やれる！環境が有ることです。やってみての成功体験は嬉しいものです。またやってみようと言う意欲がわいてきますよ。その面白い、楽しい体験こそが幼稚園の中には毎日生れ出ています。失敗を恐れて事を始めるのは、失敗を多く体験してからです。その中には、周囲の人に迷惑をかける。形あるものを壊す等などの経験を沢山して、気付き上手にやり遂げて行く過程を私たちは見守らなければ、子ども達の学びや気付きが育ちません。この時代に、思うことをさせてあげましょう。先日、お寺さんの境内で出会ったことばです。

いやなことがあっても、これでおしまい、そう心をきめて、楽しく笑顔で生きる。